臨床（薬品）分析化学教室の同窓会を開催

薬品分析化学教室は、1964 年に辻章夫先生（現 名誉教授）により開設され、その後、前田昌子先生、そして 2005 年より荒川秀俊先生に引き継がれ、現在は薬学部 物性解析薬学講座 臨床分析化学部門と名称を変更しております。この度、半世紀が過ぎました分析化学教室の今来を振り返り、一同が会する同門の会（つじ会：分析化学教室同窓会）が 2016 年 7 月 2 日（土）に品川プリンスホテルにて開催されました。本会では辻先生ご夫妻もご出席されました。代表幹事は 17 回生の池上卓志様が執り行い、参加者は、卒業生（1～48 回生）、大学院修了生、研究生、旧職員で合計 204 名となりました。本会では、池上様の開会の辞に続き、辻先生からご祝辞を頂きました。そして、前 昭和大学薬学部同窓会会長の新井平八郎様（1 回生）による乾杯のご発声を頂きました。ご出席された方々は、久しぶりに恩師、友人や先輩後輩とお会いし、大学時代の思い出や現在のご活躍などのお話しで会場は楽しい雰囲気に包まれました。その後、前田先生の動画や卒業生の思い出の写真、現在の富士吉田校舎の写真などのスライドショーが行われました。閉会の辞は、現 臨床分析化学部門 教授の荒川秀俊先生から頂きました。閉会時には、辻先生から、200 人それぞれに思い出がつまった絵画がプレゼントされました。おそらく、受け取られた方々は、すばらしい絵画に感銘を受け、さらには学生時代の思い出がよみがえったことと思います。皆さまのおかげで、つじ会は大盛況で閉会することができました。次回のつじ会でも、皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

臨床分析化学　唐沢



辻先生ご夫妻



絵画の 1 例（御岳山 開田高原）



前田先生



荒川先生



代表幹事 池上様（17 回生）



1～8 回生



9～16 回生



17～19 回生



20～24 回生



25～29 回生



30～38 回生



39～42 回生



43～46 回生



47～48 回生